

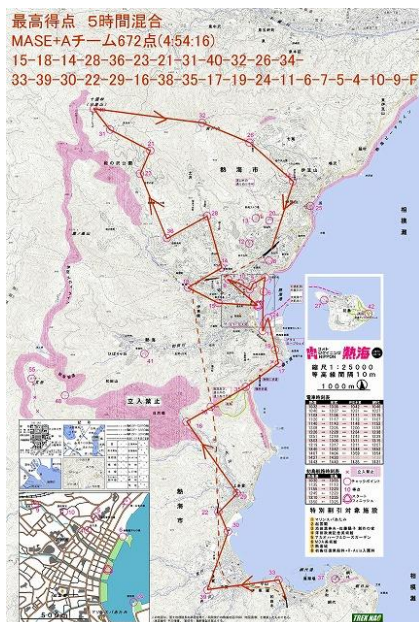
熱海大会 2013/5/19(静岡県熱海市)、郡上大会 2013/5/26(岐阜県郡上市)

今年から開幕した「フォトロゲイニングNIPPON」シリーズの競技ディレクターによる、前半2大会の解説をご紹介します。



## 熱海大会

フォトロゲイニングにありがちなことですが、とにかく混合チームが強い！走力的には一般的に女性は不利と思われがちですが、チームを組むことでいつも以上の力を発揮できるということもあるのかしら。と、自分も経験上感じます。これぞフォトログのおもしろさ。混合チームこそ、フォトロゲイニングNIPPONの選手権クラスと言っていい？今回も、最高得点は混合チームから出ました。MASE+Aチーム(間瀬ちがやさん、市岡隆興さん)。



### ■配点の種明かし

競技ディレクターの私、下見では登ったり降りたり海渡ったり、今回は41

箇所のチェックポイントを配置しました。使えるルートが限られている中、初心者・中級者にもある程度点数が稼げるエリアということで、北側の得点が多め。伊豆山神社には、45チームが行きました。ちなみに、34伊豆山神社-25走り湯をコンボで取っていないのは、総合優勝のチームのみ。電車を優先して25は行けなかった模様。

特別ルールの船を利用して初島に行くこと入賞に絡むのは難しいですが、体力的には温存できるので、コストパフォーマンスは良いはず。8チームが訪れています。内、2チームは3時間女子。よしよし。

その点、玄岳はコスパ悪いのですが、ここは標高差798.4mのロマンであります。3チームが行っています。眼下に見える海に向かって、一気に駆け下りるジェットコースター、楽しかったでしょ？

もし、次に伊豆スカイラインが使えるたりしたら、まったく違った配置になりそうです。

## 郡上大会

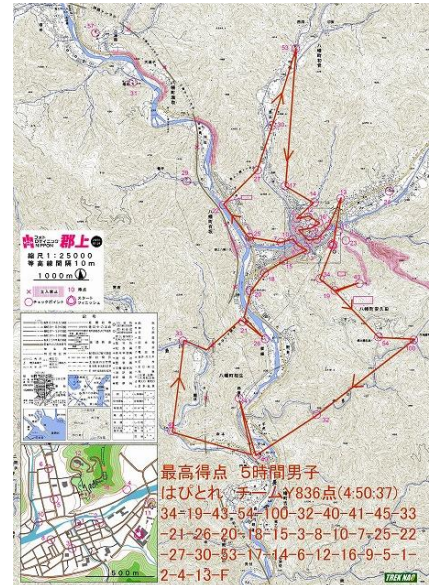
郡上では、全部で41箇所のポイントのうち、4分の1が、1km四方の街中に集中していました。今回の最高点は836点と、前回の熱海の最高点672点を点数としては大きく上回りましたが、そういった条件も影響しているでしょう。とはいえ、神奈川から参加した男子チーム「はびとれ チームY」は、フォトロゲイニングの経験も十分あり、走力と読図力の伴う強豪。

高低差のある南側を全て取り、最後は、得点の集中する街なかを、時間いっぱい回ってフィニッシュ。今回は、会場付近の街エリアを最後の時間調整に取っておいた、というチームが多く、なかなか戦略としても優秀。ただし、街なかを合計すると100点以上と、実は高得点のボーナスエリアなので、最後に間に合わない！回れない！となると、もったいないのでありました。みんなちゃんと回れたかな？

### ■配点の種明かし

遠方や「行ってこい」のポイントをいくつか置いて、高得点を取りづらいマップを作ることも可能だったのですが、やっぱり見どころは街でしょう。郡上

八幡に車で入るとよく分かりますが、深い山と谷に囲まれたところに、凝縮された城下町があるという特異さ。離れて見る、上から見る、そして中に入ると、郡上八幡の街がより味わい深く感じられたのではないのでしょうか。そして、5時間クラスのアカペラファンファーレで垣間見た「祭り感」が気になる方、徹夜・耐久自慢の方は、夜を徹して行われる「郡上おどり」の時期に、再度来訪をおすすめします！



なお、本大会の運営では、SIの利用を快く了承下さったサン・スーシの大場様、尾上様、飯島様、O-Supportの小泉様、岐阜県協会の牧ヶ野様、林様、橋本様、近藤様、水野様、以前よりTREKNAOでお世話になっている高村様、奥村様、藤島英史様(このレポートの大会写真も)、招待選手として村越真様、田島利佳様、ほか、数多くのオリエントニアのみなさまにお世話になりました。ご参加の皆さま含め、心よりお礼申し上げます。

次は、10/6伊豆下田、11/10島田の募集が始まっています。お待ちしております。

(伊藤奈緒)

公式サイト <http://photorogaining.jp/>